

高校世界史プリント（過去問類似）  
世界史B（旧課程の過去問） No.7

名前

得点

/11

問1 明代後半に全国的に普及した税制で、それまで複雑だった夏秋の二税や各種の力役（役）を一本化し、銀で一括して納入させるようになった制度は何か。（2012年 全国公立入試 類似）

1. 租庸調制                      2. 地丁銀制                      3. 占田課田                      4. 一条鞭法

問2 ナポレオン率いるフランス軍の侵略に対し、スペインの民衆が展開した、小規模な部隊による奇襲や後方攪乱を特徴とする非正規の戦闘形態を何というか。この言葉は、スペイン語で「小さな戦争」を意味する言葉に由来する。（2022年 全国公立入試 類似）

1. 電撃戦                      2. ゲリラ戦                      3. 塹壕戦                      4. 総力戦

問3 明の洪武帝は、宰相の権力を排除して皇帝独裁権を強化するため、中書省を廃止して六部を皇帝に直属させた。しかし、これにより皇帝の政務負担が激増したため、次の永楽帝の時代に皇帝の文書処理や諮問を補佐する臨時的の職として設けられ、のちに実質的な宰相として国政を主導するようになった官職は何か。（2025年 全国公立入試 類似）

1. 軍機処大臣                      2. 尚書左僕射                      3. 内閣大学士                      4. 尚書右僕射

問4 清末の1911年、清朝政府が発表した幹線鉄道の国有化方針に対し、民間資本による鉄道建設を進めていた地方紳士や実業家らが猛反発して発生し、同年の武昌起義（辛亥革命）の直接の契機となった、中国西南部の省で起きた武装蜂起を何というか。

（2006年 全国公立入試 類似）

1. 二次革命                      2. 武昌起義                      3. 辛亥革命                      4. 四川暴動

問5 古代ローマの共和政において、外敵の侵入や内乱などの非常事態に際して、元老院の勧告に基づきコンスル（執政官）から1名が任命され、任期半年で超法規的な全権を掌握した臨時的の官職を何というか。（2024年 全国公立入試 類似）

1. 護民官                      2. 監察官                      3. 独裁官                      4. 執政官

問6 1910年、メキシコにおいて長期にわたり独裁体制を維持していた大統領の打倒を呼びかけて武装蜂起し、のちに大統領に就任したものの、保守派の反革命クーデタによって暗殺された自由主義的な政治家は誰か。（2017年 全国公立入試 類似）

1. サバタ                      2. マデロ                      3. ゲバラ                      4. ペロン

問7 第一次世界大戦においてドイツやオーストリアなどの同盟国側に立って参戦したオスマン帝国は、敗戦後の1920年に連合国との間で過酷な講和条約を締結し、アラブ地域などの領土の大部分を失うこととなった。この条約は何か。（2019年 全国公立入試 類似）

1. トリアノン条約                      2. セーヴル条約                      3. ヴェルサイユ条約                      4. ヌイイ条約

問8 19世紀前半のアメリカ合衆国は、西漸運動を通じて急速に領土を拡大した。1836年にメキシコから独立を宣言していた共和国を、1845年に合衆国が自国領へと編入し、のちの戦争の契機となった出来事を何というか。（2013年 全国公立入試 類似）

1. テキサス併合                      2. オレゴン併合                      3. アラスカ買収                      4. フロリダ買収

問9 1960年代末に西ドイツの首相に就任し、東ドイツとの関係改善やポーランドとの国境（オーデル・ナイセ線）の事実上の承認などを推進し、1971年にノーベル平和賞を受賞した政治家は誰か。（2020年 全国公立入試 類似）

1. エルハルト                      2. ブラント                      3. コール                      4. シュミット

問10 古代ローマの共和政下において、貴族（パトリキ）と平民（プレブス）の身分闘争が激化するなか、貴族による法の独占を打破し、平民の権利を守るために紀元前5世紀半ばに制定された、同国最古の成文法は何か。（2005年 全国公立入試 類似）

1. 市民法                      2. 十二表法                      3. 自然法                      4. 万民法

問11 露土戦争の講和条約であるサン・ステファノ条約において、ロシアの影響下にある広大な自治公国としての成立が約束されたものの、その後の国際会議で領土を大幅に縮小され、オスマン帝国の主権のもとで貢税義務を負う自治公国として公認されるにとどまった地域はどこか。（2021年 全国公立入試 類似）

1. ブルガリア自治公国                      2. モンテネグロ公国                      3. ルーマニア連合公国                      4. セルビア公国

## 答え合わせ・解説 No.7

問1	答え 4 一条鞭法	明代の16世紀後半、首輔の張居正らによって推進され、全国的に普及した税制。それまで現物や労働で納められていた税や役を、銀による納税に一本化した。これにより、税制の簡素化と国家財政の安定が図られた。
問2	答え 2 ゲリラ戦	1808年、ナポレオン率いるフランス軍がスペインを侵略すると、スペインの民衆は正規軍によらない組織的な抵抗運動を展開した。このとき行われた、少人数で敵の不意を突き、後方を攪乱する戦術は、スペイン語で「小さな戦争」を意味する「ゲリラ」と呼ばれ、近代における不正規戦の代名詞となった。この抵抗はフランス軍を泥沼の消耗戦に引きずり込み、ナポレオン帝国没落の一因となった。
問3	答え 3 内閣大学士	洪武帝による中書省の廃止と六部の皇帝直屬化は、皇帝への極端な権力集中と業務の激増をもたらした。このため、永楽帝の時代に皇帝の政務を補佐する秘書官的な役割として内閣大学士が設置された。当初は諮問機関に過ぎなかったが、次第に国政の実権を握り、事実上の宰相として機能するようになった。
問4	答え 4 四川暴動	清朝政府が外国からの借款を得るために幹線鉄道の国有化を宣言したことに対し、四川省では株主や地方紳士らが猛烈に反対し、保路運動（鉄道保護運動）を展開した。これが清朝による武力弾圧を機に武装蜂起へと発展した。清朝がこの鎮圧のために湖北省の軍隊を四川に派遣したことで、手薄になった武昌で新軍が蜂起し、辛亥革命が勃発することとなった。
問5	答え 3 独裁官	古代ローマの共和政では、非常時に迅速な意思決定を行うため、1名のみが任命されて絶対的な権限を行使する独裁官（ディクタトル）という臨時職が設けられていた。これは、フランスの第一共和政において選挙で選ばれた議会（国民公会）が独裁を主導したのとは対照的に、個人に権力を集中させる仕組みであった。
問6	答え 2 マデロ	1910年に始まったメキシコ革命において、長期独裁を続けていたディアス大統領の打倒を叫んで武装蜂起を主導した人物である。大統領に就任して改革を進めようとしたが、サパタら農民勢力との対立や保守派の反発を招き、軍人のウエルタによるクーデタで暗殺された。
問7	答え 2 セーヴル条約	第一次世界大戦で同盟国側に立って参戦したオスマン帝国は敗北し、1920年に連合国との間でセーヴル条約を結んだ。この条約により、帝国は領土の大部分を失い、事実上解体されることとなった。その後、ムスタファ・ケマル率いる抵抗運動によってこの条約は拒絶され、新たにローザンヌ条約が結ばれることになる。
問8	答え 1 テキサス併合	メキシコ領であったテキサスに入植したアメリカ系移民は、メキシコ政府の統治に反発して1836年に独立を宣言し、テキサス共和国を樹立した。1845年にアメリカ合衆国がこの地を自国領に編入したことは、翌1846年に勃発したアメリカ・メキシコ（米墨）戦争の直接的な引き金となった。
問9	答え 2 ブランド	社会民主党（SPD）のブランドは、1969年に首相となると、東欧諸国との和解を目指す東方外交を推進した。1970年にはポーランドのワルシャワを訪問し、ユダヤ人ゲッソー記念碑の前で膝をついて謝罪したエピソードが有名である。彼の主導した緊張緩和への貢献に対し、1971年にノーベル平和賞が授与された。
問10	答え 2 十二表法	共和政期のローマでは、平民が貴族に対して身分闘争を展開した。その過程で、紀元前5世紀半ばに慣習法を明文化した最古の成文法が制定され、貴族による法の独占が打破された。これはのちのリキニウス・セクスティウス法やホルテンシウス法へとつながる、平民の権利伸張の重要な第一歩となった。
問11	答え 1 ブルガリア自治公国	1877～78年の露土戦争の後、サン・ステファノ条約によってロシアの保護下にある大自治公国の樹立が合意された。しかし、ロシアの南下を警戒するイギリスやオーストリアの反発を招き、ビスマルクの仲介によるベルリン会議が開催された。同会議で結ばれたベルリン条約により、この地域は領土を南北に三分され、北部のドナウ川南方地域のみがオスマン帝国の主権下で貢税義務を負う自治公国として公認されるにとどまった。